

都市整備

東京都薬用植物園に関する意見書提出のその後について

永田政弘議員(政和) ①その後の経過は。

②存続に関して現在の動きは。 ③市民への市の働きかけは。

市長 ①都から平成18年度末には事務事業の見直し状況に関する調査を実施し、調査結果を都民に公表すると聞いている。

②市では平成18年9月に東大和市、立川市と情報交換を目的とした事務連絡会を立ち上げた。

③都が行う見直し状況に関する調査結果などに注目しながら、市民とともに活動していきたい。

◀東京都薬用植物園(中島町)



これからの住まい方とコミュニティ

苗村洋子議員(緑ネ) ①市として住宅政策に関する方針や計画を持つ考えは。

②コミュニティをつくるという視点から、情報提供や誘導を行うことはできないか。

③商業施設の開発では、市条例と大規模小売店舗立地法とで手続に差があるが対応は。

市長 ①小平市都市計画マスタープランの改定の中で検討する。

②地区計画等提案型まちづくり条例を検討する中で、支援体制も検討したい。

③大規模小売店舗立地法を所管する都との連携を可能な範囲で検討していきたい。

NTT花小金井東社宅閉鎖後の土地を有効活用できないか

華表 暁議員(共産) ①6月に市が開催した住民説明会の内容は。

②特にこの地域は若年層の人口が増えているが、公立の保育園を設置する予定はないか。

③花小金井南中学校に市民開放型のスポーツ施設、会議室、ホール等を整備できないか。

市長 ①今までの経過、周辺の施設状況、用途地域、開発事業の流れ等を説明した。

②児童数は減少傾向のため、新たな設置は考えていない。

③将来的には地域開放型の体育館を考えているが、具体的には今後検討していく。

NTT花小金井東社宅跡地開発と花小金井南市民広場について

島村速雄議員(政和) ①売却先と跡地利用の現況は。

②市が取得しようとしている面積とその目的は。

市長 ①売却先は未定であり、跡地利用も明らかではない。

②面積については、取得した事業者と協議を行っていく。目的は、花小金井南中学校の施設を有効活用して地域開放型体育

館を整備するもので、中学校に隣接する位置指定道路のつけかえを前提に、学校敷地の拡大を図ることである。あわせて、花小金井南市民広場を体育館に接する位置に移設し、地域に開放された運動施設として、この地域での拠点化を図っていきたい。

花小金井南町の温浴施設の開業に当たって

華表 暁議員(共産) ①温浴施設に関する請願審査の際、小平市都市計画マスタープランの改定内容を考慮しながら検討し適切に対応していくと答弁があったがその後の進捗状況は。

②平成17年9月定例会で一般質問した際に、鈴木街道のセンターラインへのポストコーンの設置を交通管理者と協議していくと答弁があったが進捗状況は。

③開業に当たり、周辺環境の整備などを検討しているか。

市長 ①開発に関する市民への情報提供等を目指した新たな条例の検討を、改定の素案に位置づける予定である。

②交通管理者と協議を行い、スピード抑制に効果的な箇所への設置を予定している。

③接道緑化や敷地内の雨水浸透施設の設置等の指導を行い整備を図った。

小平市都市計画道路3・4・10号線の今後の整備と問題点は

立花隆一議員(公明) ①用地の買収状況と今後の予定は。

②通称こぶし通りの交通事故の現状と安全対策は。

③さら公園通りから東側の整備計画と住民への説明は。

④3・4・21号線と接続する



整備が進む都市計画道路3・4・10号線

場合の対策は。

市長 ①平成18年度末に97%となる見込みで、道路築造と一部開通は平成19年度の予定である。

②1年間で3件発生しており、各種の交通規制を進めたい。

③平成19年度の事業認可取得を目指しているため、3月ごろまでに説明を行いたい。

④交差点と富士見通りの交通対策を検討する必要がある。

市内都市計画道路の積極的な推進を

宮崎照夫議員(政和) ①都施行による都市計画道路の整備状況は。

②府中所沢線の事業推進に当たり、都からの説明は。

③小平駅北口の道路は都が優先的に整備すべき路線として計画しているが、市の動きは。

④都市計画道路を積極的に推進するよう都に要請しては。

市長 ①市内の整備率は平成17年度末で42・8%である。

かけを依頼したり、東京都市長会等を通じて要望している。

これまでの土地区画整理事業の検証と今後について

佐野都夫議員(政和) ①小川町一丁目土地区画整理事業の特徴は何か。

②栄町や小川西町土地区画整理事業の経験を生かし、どのようなまちづくりを目指すのか。

③次の計画や予定は。

市長 ①玉川上水の史跡や緑地と区画整理事業で創設する公園施設等を一体化して整備することにより、自然と調和した環境になると考える。

②過去の経過から小規模開発による無秩序な市街化の防止や、住みよい環境の形成に有効な方法と認識している。今後は、農地の保全と地域特性等に配慮したまちづくりを目指す。

③実施したいと考えている地域もあるため、まちづくりの観点から支援をしていきたい。

鷹の台駅のバリアフリー化を急げ

木村まゆみ議員(共産) ①西武鉄道等との協議状況は。

②何年後の完成を目指しているか。

③鷹の台駅だけが取り残されている原因は。

④東側改札口の表現は。

市長 ①西武鉄道とは5回、市民とは2回話し合っている。

②現在、整備方法の検討を行っているが、結論には達していない。

③東側改札口の設置等で合意できなかったためと考える。

④バリアフリー化の検討と合わせて引き続き協議していく。

あくまでも市の責任でコミュニティバスを運行すべき

立花隆一議員(公明) ①コミュニティバスでの運行方式は検討しなかったのか。

②にじバスの運行経費削減にどのように努力をしたか。

③新ルートと新料金の開始を同時に理由と課題は。

市長 ①道路の幅員が狭く人口密度が低い地域の運行に対応するために、新たな交通システムを提案した。

②平成18年度は運行事業者に経費を削減するよう要望した。

③運賃、ルートのほか地域住民等と連携した新システムなどを総合的に判断するためである。

課題は短期間に複数の試行を同時に行うので、追跡調査が重要となることである。

コミュニティバス等公共交通の拡充と市民協働について

佐藤 充議員(共産) ①NPOで運行をとの方針はなじまないのでは。

②にじバスの試行運行での運賃引き上げと鷹の台駅付近への乗り入れについての検討は。

③市民参加や市民との協働についての考えは。

市長 ①地域住民が主体的に参画することで地域ニーズに細かく対応できる等の考えから、NPO等の組織化を提案した。

②運賃は特定地域を運行することに不公平感もあるため見直す。乗り入れは定時性の確保等の課題がある。

③計画から実施、評価、改善に至るまで地域住民等が参画できる地域内交通を目指したい。

都営大沼町二丁目アパートへのバス乗り入れ等のその後

宮崎照夫議員(政和) ①バスの利用状況は。

②青梅街道や東京街道付近にバス停を設置するよう、立川バスに要請できないか。

③東京街道と新小金井街道の交差点に矢印信号の設置を要望したが、その後の状況は。

市長 ①利用人数は少ないが、推移を見守っていききたいと立川バスから聞いている。

②既存のバス会社への配慮から設置は困難とのことであったが、今後も要望していく。

③警視庁に設置の要請をしていると小平警察署から聞いており、市も働きかけた。

コミュニティバスは運行するのかもしれないのか

鴨打喜久男議員(政和) ①市報の特集に寄せられた意見は。

②にじバスは運行するのか、廃止するのか。

③新たな4路線は公設民営がよいと考えるがどうか。議会に對していつ説明するのか。

市長 ①にじバスの見直しや各

地域への運行要望等、283人から413件の意見があった。

②平成19年度から運賃、ルート等の見直しを行い、その評価に基づき判断する。

③コンパクトな地域内の生活交通であるコミュニティタクシーについては、運営主体等も含め地域ニーズ把握のための調査を予定しており、その結果を踏まえて議会にも説明する。

小川東町一丁目周辺のまちづくりについて

西 克彦議員(共産) ①旧ブリヂストンマーケットの建てかえに関する市への相談状況等はどうか。

②旧ブリヂストン西社宅跡地を近隣住民の駐車場等という要望があるが市の対応は。

市長 ①当該施設は10月に調整を終了した。建物は3階建てで、社員の診療所等が入る複合施設を計画している。また、旧ブリヂストン西社宅は、駐車場として整備すると聞いている。

②ブリヂストンの駐車場として整備するので、困難である。駐車場の一部を地域対象の有料駐車場にという要望は、市から伝える。

旧ブリヂストンマーケット

(小川東町一丁目)

